

イスラエルからのニュース

2011年7月24日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

翻訳者求む！

このリバイブ・イスラエルの最新のニュースは現在 10 の言語に定期的に訳されています。これらの言語に対してさらに翻訳者を必要としており、そして常に新しい言語へ翻訳する翻訳者を探しています。

あなたは英語以外に別の言語に堪能でしょうか。あなたはこれらの言語で文章を書きたいと思っていますでしょうか。神の御言葉がシオンから出るのを支援するため、私たちのチームの一部になりたいとご希望でしょうか。

どうか anja.herzog@reviveisrael.org にご連絡下さい。あなたがたから連絡が来るのを期待しております。

7月23日～8月3日：アシェルとベティのヨーロッパ滞在

アシェルとベティ・イントレーターはポーランドとチェコ共和国で、そこにいる兄弟たちと共に奉仕しておりますので、彼らのためにお祈り下さい。さらに、彼らは結婚 30 周年をお祝いするために、そこで休暇と安息の時を持っています。

若いイスラエル人青年のイタリアでの伝道活動

ソロモン・イントレーター

過去数年ほど、私たちの若い青年たちの集会「ツウリヤ」(「ヤア」(神)は私の岩)において、このチームを霊的に成熟させ、伝道活動を行わせるように機能させてきました。最近、指導者へのセッションにおいて、それぞれの賜物の違いを認めそれを強化するワークショップなどを行いました。私たちの弟子訓練ビジョンは国際的な宣教、諸国へとつながっています。私たちは祈った時、イタリアで伝道活動するように導かれました。私たちは7人のメンバーのチームを10日間、イタリアの3カ所で、そこで地元の信者たちと執り成しの祈りを行い、路上に出て出会う人々誰とでも分かち合いと祈りを行う活動をする旅の準備に着手しました。どうか、この働きの支援活動を行い、霊的に準備を行う際、私たちのためにお祈り下さい。

インドにいるイスラエル人旅行者への伝道活動

ハイム師は4人の子を持つ30代中盤の人で、アハヴァット・イエシュアのメンバーですが、彼が11歳の時にソ連からここに移民して来て以来初めてイスラエルを離れます。リバイブ・イスラエルの支

援を受けて、彼は北インドにいるイスラエル人旅行者に伝道活動を行う宣教推進国際チーム「Reach Initiative Int'l team」に参加することができました。彼はこのように書いています。

「私たちの日常の活動は、朝のデボーション、賛美、執り成し、聖書の学び、そして前日の伝道活動の見直しなどが含まれます。その後、私たちは各2、3人のグループに分かれ、イスラエル人旅行者が集まるいろいろなレストラン、カフェなどに分散します。私たちはメシアニックジューのグループで、一緒に旅をし、祈り、神を求め、そして新しい人々との出会いを楽しみ、そして聞きたいと希望している人々に私たちの信仰を分かち合っています、と彼らに説明します。霊的なことについて語るのは容易でした。彼らは私たちがここで求めているものに興味を持ってくれるのです—それらが薬物や、騒がしいパーティーや、性的放縦でなければ。人々はとても温かく、開放的で、全グループメンバーの証を喜んで聞いてくれます。ある若いイスラエル人男性「T」と地元のインド人3人は主に人生を捧げました。どうかインターネットで彼らとのコンタクトを維持し、弟子訓練を行う際に私と共に祈って下さい。全般的に、これは私にとって驚くべき経験であり、イエシュアに対する「最初の愛」に戻らせ、伝道活動に対する熱意を刷新させてくれるものでした。ありがとうございます。

7月16日：東京でのジーザス・マーチ アリエル・ブルーメンソール

私たちのパートナーであり友人の「イカピー」は1000人近い日本人と諸国の信者たちを東京の繁華街で行われた「ジーザス・マーチ」に集める支援を行いました。うだるような暑さの中、人々は集まって2時間半の賛美礼拝、祈りが行われ、それに続いて1時間半のマーチを明治公園から代々木公園まで行いました。そこには、10カ国以上の指導者や代表者もあり、リバイブ・イスラエルの友人デビッド(オリーブツリー・ランチ Olive Tree Ranch)とアヴィシャロム(憐れみの天幕 Tents of Mercy)もあり、執り成しを行い祭司の祈り(民数記 6:22-26)を集会に対して行いました。そこには大いなる霊の一致と喜びがありました。さらに、東京のコンクリートジャングルの間を吹き抜ける季節外れの涼しい風のお陰で熱を和らげてくれました。どうかイカピーの福島県いわき市にあるグローバル・ミッション・センターでの働きを続けてお祈り下さい。毎日、ほぼ100人の人々がこの支援センターに集まり、多くが信仰に入っています。

息子が生まれ、契約が交わされました！ ジョナサン・M

乳児の名前はラファエルです。割礼は7月21日に行われ、契約が交わされました。それは家族やエルサレムにいる信者たちによる、神に対する厳粛な忠誠の宣言でした。その忠誠は4,000年もユダヤ人によって宣言されたものです。「私たちはあなたの民となり、あなたは私の神となる」

この儀式は参加者にとってより意味のあるものでした。それは、この割礼を受けた男の子はダン・ジャスター師の 7 人目の孫であり、この儀式はアシェル・イントレーター師によって導かれたからです。アシェル師とダン師との間の、30 数年に及ぶ契約的關係、そしてメシアニックジューの第三世代の割礼という物理的な実を見ることは、深い重要性を示す瞬間でありました。

ユダヤ人信者の共同体において、私たちは割礼に特別な意味を見いだします。私たちにとってそれは究極的に契約の御子たるイエシュアの現実性を思い起こすものだからです。主ご自身もユダヤ人として 8 日目の日に割礼を受けられ、「ユダヤ人の王」というしるしの下亡くなられ、そしていつの日かここエルサレム、私の息子が割礼を受けたこの街から世界全体を支配されるのです。